

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	30-3																																						
PDCA	主要事業名	乙川中学校改築等事業	部課名	教育部学校教育課	担当	榊原																																						
					内線	517																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 4,539,039 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.03.03.02.50 3か年実施計画(当該年度事業費等)： 699,300 千円																																											
	事業概要等	乙川中学校の全ての校舎(南棟・中棟・北棟)及び柔剣道場の改築(建替え)を行う。現グラウンドに建設し、既存校舎跡をグラウンドにする。校舎及び柔剣道場を令和3年度から令和4年度に、グラウンド整備を令和5年度に行う。 事業概要： 年度に行う。																																										
		事業目的： 老朽化した学校施設を計画的に更新し、生徒の学習環境の向上を図る。																																										
		事業内容： 老朽化した学校施設(全校舎・柔剣道場)の改築工事を開始する。																																										
	問題点・全ての学校施設の老朽化等を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、課題等： ライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図ることが必要である。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																										
	699,300 千円	老朽化した公共施設の更新等による財政需要の増大が見込まれることから、学校に求められる機能を確保しつつ、限られた財源の中で計画的に施設更新を行うことが必要なため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費	全体的な学校施設の更新を行うことで、生徒の安全安心の確保とともに学習環境の向上が図られる。																																										
	699,300 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">校舎等改築工事進捗率</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	校舎等改築工事進捗率	実績値	—	—	—	%	目標値	—	—	20.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
校舎等改築工事進捗率	実績値	—	—	—	%																																							
	目標値	—	—	20.0	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
0 千円																																												
0 千円																																												
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																										
	692,172 千円	現在、校舎等改築工事中であり、成果は表れていない。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業進捗率(改築工事)</td> <td>実績値</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和3年度	単位	事業進捗率(改築工事)	実績値	20.0	%	目標値	20.0	%																											
成果指標		令和3年度	単位																																									
事業進捗率(改築工事)	実績値	20.0	%																																									
	目標値	20.0	%																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 現在、工事進行中のなか海外製造する設備製品の部材などが、コロナウィルスによるロックダウンによる調達遅れや、ウクライナ侵攻により建材等の高騰により、工事の遅延が懸念される。しかし、今のところ予定どおり進捗しているため、引き続き工程管理をしっかり把握していく必要がある。																																										
A 課題の解決方向性	今後の事業の方向性	<b>現状維持</b> 現在は、校舎と武道場の建築の完了後は、旧校舎にある空調機を他校に移設する工事、旧校舎等の解体工事、グラウンド整備工事を引き続き行い、本事業を終える。																																										
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト削減余地 ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地 ない</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																											
必要性	有効性	効率性																																										
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない																																										
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																										
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											

目標項目(予算計上時に作成)  
 予算見積書で活用

評価項目(決算時に作成)  
 主要施策の成果報告書で活用